診

٠

診

うら悩 しみが 医続をん 医療用ウィッグ・乳房続けることができるよを軽減し、安心して暮んの治療に伴う外見の

ま所場時日し

緑日10の日月

[(日)午後1 月 26

(土)午

後

1

老齢基礎年金を受給するとは、国民年金保険料を納には、国民年金保険料を納めた期間や免除・猶予が承めた期間や免除・猶予が承めた期間を行いても、次の期間などを合わせて10年以上を分割があることが必要ですが、不

『年と会場が変わ』 緑の市民広場(市処日(日)午後1時

いり役

ただし、この脚は受給できます。

及映された この

は

金

ンなど購入費用補助 かん患者に医療用**り** 0 進申 課請 9 7 問合せ先 0 7 2 助ウ 1 4 3

11 月 6 日 \mathcal{O}

る山手地福祉合同 地同 区庁 公舎

レ

オ

がジャ・

づパフ

2

0

2ラ

か

フリ

3 健康推 0進

問合せ先 保険年金課**2**0 (薄い緑色)は処分し、新し 送付します。古い保険証 送付します。古い保険証 がものを使用してください。 $\begin{array}{c} 3 \\ 3 \\ \cdot \\ 7 \\ 2 \\ 7 \end{array}$

険 証 を送

ェ 전 イ 0 ザ スザ感・ は、 1 0 0 接市円 0 染新 種民 円 ホームページ 前税

、1 月(水)午後、 1 月17

予コイ に防ロン高

接ナフ齢種ウル者

7 2 7 0 金課 報 0 管 7

話険 で料 呼の び納 かめ け 忘 れ など

入令 1 分和年

ン ま オ 合 サ 世 0 、 州実行委 1・ カイフ 0 安員会**な**00円 リレー・ジャパ 9 9 4 3 0 6

し

<

は、

います。

入費用の

助

成

を

れ分

予約

7.1日以降の購 1.1日以降の購 1.2を額 1.2を額 1.2を額 2.2を額 2.2を割 2.2 を割 2.2 を 2.2 を 3.2 を 3

******かかりつけ医をもちましょ

です

か対

をご存知

貝塚病院は令和5年7月31日付で「紹介受診重点医療機関」に選定さ れました。皆様には、日ごろの健康状態をよく知る「かかりつけ医」を おもちいただき、専門的な治療が必要な場合には「かかりつけ医」から の紹介を通じて受診いただきますようお願いします。

【専門的な医療が必要な場合】



かかりつけ医

長期の経過観察 日常的な診療 慢性疾患 など

貝塚病院

重症・難病患者 手術や入院 高度な検査 など

※紹介状なしで受 診する場合は、別途7,700円(税込)が 必要になります。



【症状が安定した場合】

問合せ先 貝塚病院医事課 **☎**072−422−5865

貝塚市薬剤師会

今回は、市民の皆様に知ってい ブラウンバッグ運動 ただきたい健康管理の新習慣「ブ ラウンバッグ運動」について紹介します。

これは、普段服用している薬を袋に入れて医療機関に持参し、残薬 整理を含めた薬剤管理を行う取組みのことです。名称は、1990年代に アメリカで茶色の袋か使われていたことに田米します。局齢化により 定期的に薬を服用する人が増える中、飲み忘れによる治療効果の低下 や、飲み過ぎや誤服用による健康被害への対応が、全国的な課題と なっています。そこで、ブラウンバッグ運動を実践することで、残薬

や飲み合わせが確認でき、安全に薬が服用できるようになります。 具体的には、かかりつけ薬局を訪れる際に、現在服用している全て の薬を袋(どんな袋でもかまいません)に入れて持参するだけです。こ れには、処方薬だけでなく市販薬やサプリメントも含めましょう。こ の習慣を続けることで、薬の相互作用のチェックで不要な重複服用を 避けることができ、安全性が高まり、また医療費の無駄を抑えること

もできます。 この新習慣を取り入れ、健康管理をより充実させてはいかがでしょ うか?

貝塚市歯科医師会

今、子どもの虫歯は?

康推

0 進

7

近年、少子化が問題視され、国は令和5年度に子ども 家庭庁の創設など対策を講じています。しかし、女性 1 人が生涯に出産する子どもの推定人数を示す「合計特殊

出生率」は、本年1.20と発表されています。これは、1947年の統計 開始以降、つまり77年間で最低の数値ということだそうです。

このような状況で「子ども達の虫歯はどのようになっているのだ ろう」と思い調べてみました。

すると、18歳未満の子どもの虫歯は、罹患率・本数・人数ともに 減少していることがわかりました。

このことは、歓迎すべきことです。しかし、少子化そのものに 様々な問題点があるのは事実で、虫歯は年々減少していますが、他 の多くの病気に比べると有病率が高いということです。その結果、 15歳未満の国全体の医療費は、風邪などの呼吸器疾患に次いで歯科 疾患が高額になっています。

子ども達の虫歯の成り立ちは、母親が妊娠する前からの口の状態 に左右されます。様々な角度から健康面の少子化対策を考えてみる 必要があると思います。

貝塚市医師会

☎072 − 423 − 4130

歩く速さと健康寿命 秒速 1m健康法という言葉があります。秒 速 1 m以上で歩いていれば健康ということの

ようです。では、秒速 1mとはどのくらいの歩行速度なのでしょうか。

身近な例としては、歩行者用横断歩道を青信号の間に安全に渡り切れる速さ になります。一般成人の歩行速度が時速4km(秒速1.1m)とすると、少しのん びりしたペースです。年齢とともに歩行速度は低下しますが、皆さんは横断歩 道を渡りきれていますか?

//ーバード大学の研究グループから歩行速度と健康寿命の関連性について興 味深い調査結果が報告されました。それによると時速3.2km未満で歩く人に 比べ3.2~4.8㎞の人は1.9倍、時速4.8㎞以上の人は2.68倍も健康寿命 が長いということでした。

意識的な速歩は、血流を促し、心・肺・脳などを活性化し、筋肉を刺激する ことで健康寿命を延ばします。年齢とともに低下する歩行速度を維持するため には、日常生活の中で積極的に歩く習慣を身につけることが大切です。エレ ベーターではなく階段を使う、一駅分を歩くなど、簡単な工夫で歩行量を増や すことができます。そして、この歩く習慣を続けるためには、無理せずとにか く歩くことを楽しむことです。皆さんも日常生活の中で意識して歩行速度を上 げ、健康寿命を延ばす一歩を踏み出してみてはいかがでしょうか。